

第33回応用倫理・応用哲学研究会

ストア哲学の利用と濫用

古代ギリシア・ローマ世界でヘレニズム期からローマ帝政期にかけて大きな勢力を誇ったストア哲学は、現代の生きる知恵として注目されている。他方、古代のストア哲学の精緻な理論の再構成に尽力してきた哲学史研究者の中には、現代のストア哲学愛好者が時に見せる保守的傾向への懸念も相まって、こうした流行を冷ややかに見てきた者も多いのが実情だろう。とはいえ、古代のストア哲学が生きる知恵として実践されていたことも確かであり、研究者こそ「論語読みの論語知らず」となっている可能性もあろう。この研究会では、現代におけるストア哲学の利用と濫用のあり方を、哲学史研究の知見を踏まえながらも、歴史的な正しさのみを評価基準とはしない視点から、批判的に検討したい。

プログラム

16:00~16:05
趣旨説明

16:05~16:35
藤井翔太「現代ストア哲学の政治言説
への転用とその背景について」

16:35~17:05
川本愛「エピクテトスと社会正義
：モダンストア派への批判に向き合う」

17:05~17:45
登壇者間のやり取り、質疑応答

発表者 藤井翔太（テンプレ大学ジャパンキャンパス）

関心領域は応用哲学、教育哲学。訳書にナンシー・スタンリック『アメリカ哲学入門』（勁草書房、2023年）、ドナルド・ロバートソン『認知行動療法の哲学——ストア派と哲学的治療の系譜』（共監訳、金剛出版、2022年）、共著に『徳の教育と哲学——理論から実践、そして応用まで』（東洋館出版社、2023年）などがある。

川本愛（北海道大学出版会編集担当）

専門は思想史（西洋古代）。著書に『コスモポリタニズムの起源：初期ストア派の政治哲学』京都大学学術出版会（2019）、訳書にジャン＝バティスト・グリナ『ストア派』白水社（2020）、クリストファー・シールズ『古代哲学入門』勁草書房（2022）（共訳）など。

司会 近藤智彦（北海道大学大学院文学研究院）

2024年

2月18日（日）
16:00~17:45

対面・オンライン（Zoom）併用
（会場定員90名、オンライン定員300名）
【オンライン参加のみ事前申込必要】

北海道大学
人文・社会科学総合教育研究棟
W202

オンライン参加のみ
事前参加申込が必要です

申込締切

2024年2月17日（16時）まで

参加希望者はQRコードまたは
URLからお申込みください。

<https://forms.gle/t4xmzUqmxrTPWLS06>



本研究会はJSPS科研費20H01175の助成を受けています。

入場無料

お問合せ 北海道大学大学院文学研究院 応用倫理・応用哲学研究教育センター 事務局
〒060-0810 Email: caep@let.hokudai.ac.jp
札幌市北区北10条西7丁目 HPURL: <http://caep-hu.sakura.ne.jp>
Tel: 011-706-4088 Twitter: @caep_hu